

フォント：和文・明朝体，欧文・数字：Century

左マージン 23 mm

天マージン 28 mm

右マージン 23 mm

OECD・WTO における貿易と環境に関する議論

——タリフ・エスカレーションの場合——

1行あき

タイトル：16ポイント，サブタイトル 10.5ポイント，中央揃え

西澤栄一郎・小林弘明*

(農林水産省農業総合研究所・*農林水産省国際農林水産業研究センター)

1行あき

著者名：14ポイント；所属 10.5ポイント，中央揃え

Controversy on Trade and the Environment in OECD and WTO (Eiichiro Nishizawa, Hiroaki Kobayashi)

1行あき

英文タイトル・ローマ字表記著者名：10.5ポイント，行送り 15ポイント，左揃え

1. はじめに

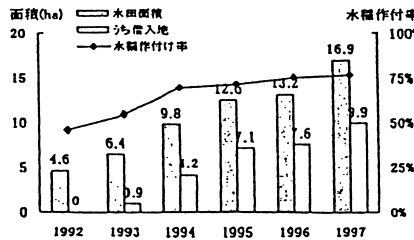
OECD 議論が近年盛んである。この具体例のひとつとして、タリフ・エスカレーション (傾斜関税) の削減・解消は一次産品の過剰生産や天然資源の乱開発の抑制につながり、原料生産国の環境改善に資する、というものがある。本稿では、この主張に対して理論的に考察を加えるとともに、いくつかの事例について検証を試みる。

本文：10.5ポイント，1行全角 46文字，行送り 15ポイント，左右揃え (見出しはゴシック体，大見出しの前は1行あき)

第1表 日本の加工品関税の低下が輸出の原料生産に及ぼす影響
大豆・なたね

| | 価格弾力性* | 油脂生産 | |
|------------------|--------|-----------|-------|
| | 供給 | 需要 (1995) | |
| 日本 | 0.42 | -0.04 | 1467 |
| 米国 | 0.72 | -0.07 | 世界計 |
| カナダ | 0.42 | -0.02 | 29900 |
| EU | 0.37 | -0.04 | (千トン) |
| 日本の大豆・なたね油輸入 | | | 1.2 |
| (1) 式の値 = 0.0116 | | | |

*OECD の農産物貿易モデル AGLINK のパラメーター。



第1図 船方農場の水田経営
出所：船方農場提供資料より作成

図・表のタイトル：9.5ポイント，ゴシック体，行送り 13ポイント (図・表内の文字の大きさ等は適当に調節して下さい)

2. タリフ・エスカレーションの現状

1) タリフ・エスカレーションとは

タリフ・エスカレーション (以下、TE と略記) とは、製品の加工度が高まるにつれて、関税率が段階的に高く・・・有効保護の理論によって 1960 年代半ばに示された (註 1)。

2) タリフ・エスカレーションの現状

OECD [9] は世界銀行が定義した・・・TE は現在では大きな貿易障壁ではないとしている。

註：9.5ポイント，行送り 13ポイント，本文との間を1行あける

(註 1) 有効保護の理論は，Johnson [3]，Balassa [1]，Corden [3] らによって展開された。

引用文献

- [1] Balassa, B., "Tariff Protection in Industrial Countries: An Evaluation," *Journal of Political Economy*, Vol. 73, 1965, pp. 573~594.
- [2] Chambers R.G., "International Trade, Gross Substitutability and the Domestic Farm-Retail Price Margin," *European Review of Agricultural Economics*, Vol. 10, 1983, pp. 33~53.
- [3] Johnson, H.G., "The Theory of Tariff Structure with Special Reference to World Trade and Development," in H.G. Johnson and P.B. Kenen, eds., *Trade and Development*, Geneva, Librairie Droz., 1965.
- [4] 西澤栄一郎「農産物貿易自由化論の論理—アンダーソン論文の紹介—」『農総研季報』No. 29, 1996, pp. 59~64.
- [5] OECD, *The Environmental Effects of Trade*, Paris, 1994 (環境庁地球環境部監訳『OECD: 環境と貿易』, 中央法規出版, 1995年)。

引用文献：9.5ポイント，行送り 13ポイント，左右揃え
著者名のアルファベット順に番号を付してリストアップ。

この見本は仕上がりのサイズです。提出サイズは A4 になります。

地マージン 28 mm

この見本の内容は過去の『論文集』掲載の複数の原稿から部分的に使用させていただきました。したがって内容自体に整合性はありません。

頁番号は印刷しないで裏面に 1/6~6/6 のように原稿の始めと終わりがわかるように記入してください。